



## 参加者募集のお知らせ

テーマ：メディアと社会 Medien und Gesellschaft

インターウニ・ゼミナールは、ドイツ語をもっと学びたいと思い、またドイツ語圏の地域や社会に関心を持つ学生や教員が、全国から、そしてドイツからも集まって議論する4泊5日の合宿ゼミです。さまざまな大学から集まって(interuniversitär)、日独、あるいはその他の文化を比較・対照しながら(interkulturell)、専門の枠を超えて(interdisziplinär)、国籍や文化、性差や世代や(例えば教師と学生といった)立場の違いを超えて互いに学びあおう(Inter-Lernen)というゼミです。

日本にいながら、実際にドイツ語を口に出してコミュニケーションにトライしてみる絶好の機会です。ドイツが好き、ドイツ語をもっと学びたいという人はもちろんのこと、ドイツ語を始めたけどイマイチ…という人も是非参加してみてください。そしてドイツ語を使いながら、ドイツと日本をこえて、今回のテーマ「メディアと社会」について考えてみましょう。能力別の少人数クラスが編成されますので、きっと自分にぴったりの居場所が見つかります！

ゼミナールにはドイツ語圏から来日中の学生も参加しますし、韓国からのゲストも呼べるよう交渉中です。アクチュアルなテーマとドイツ語学習を欲張りに組み合わせようというインターウニに参加して、新たに出会った友人と、ドイツ、韓国、日本の「メディアと社会」の関係について話すのはきっと「いいね！」な体験になるでしょう。講師たちも、皆さんと出会い、話し合うのを楽しみにしています。楽しく充実したドイツ語漬けの5日間を過ごしてみませんか？

日時：2012年3月11日(日)～15日(木)

場所：セミナーハウス ゆうらいふ御殿場（最寄り駅は、JR御殿場駅。）

〒412-000 静岡県御殿場市水土野259 <http://www.lic-lic.jp/seminarhouse/gotenba/index.html>

参加費：36,000円（4泊5日宿泊代、食事代、テキスト代、通信費、保険料、新宿からの往復バス代、ゼミ終了後の遠足を含む。）

募集人数：90名程度（申込み順。原則として大学1～4年生までを対象としますが、院生、ドイツ語学習歴のある社会人も可。）

申込み締め切り：2012年2月6日(月)（応募者が定員を満たした段階で締め切りますが、締め切り後でも空きがあれば受け付けますので、2月末日まではメールで実行委員会までお問い合わせ下さい。）

講師：Diana Beier（早稲田大）、Stefan Buchenberger（神奈川大 / DAAD）、Ralph Degen（一橋大）、浜崎桂子（立教大）、Stefan Hug（高知大）、Morten Hunke（欧日協会）、鎌倉澄（学習院大）、三澤真（武蔵大）、三ツ石祐子（慶應大）、Matthias Pfeifer（静岡県立大）、境一三（慶應大）、Marco Schulze（山形大）、須藤温子（日本大）、高橋優（宇都宮大）、辻朋季（筑波大）、他（予定）

参加申し込みは次のサイトから（「インターウニ」で検索！）

<http://www.interuni.jp/anmeldung> 【携帯からは <http://www.interuni.jp/keitai> から】

ホームページ：<http://www.interuni.jp> お問い合わせ <http://www.interuni.jp/kontakt>

主催：インターウニ・ゼミナール実行委員会：代表：浜崎桂子（立教大学）

協力：Goethe-Institut Tokyo（東京ドイツ文化センター）、Deutscher Akademischer Austauschdienst（ドイツ学術交流会）

## 今回のテーマ：

# メディアと社会—Medien und Gesellschaft

みなさんは、このゼミナールについての情報を、どのようなメディアで受け取りましたか？チラシをもらいましたか？インターネットで検索して見つけた？それともSNS、あるいは口コミで聞いたのでしょうか？

私たちは、テレビや新聞といったマスメディア、インターネットやSNSといった比較的新しいメディア、さらには、文字や声といったメディアも含めて、さまざまな媒体から情報を得て活動しています。これらのメディアの一部でも機能しなくなったとき、どれだけ不安になり、また社会の機能も停滞するか、先の3・11で経験した人も多いと思います。

あるいは、一つでもメディアが機能していたことで、情報を得たり、情報を発信したりという形で、「自分にできること」をした人もいるかもしれません。一方、伝達される情報が正しいかどうか、考える機会も増えました。（正直言って、チェーンメールを拡散しちゃったという人も？）

メディアで発信された情報は、時に社会を大きく変えたり、世論を動かす力を持っています。たとえば、1989年のベルリンの壁の崩壊の際には、壁を越えて東ドイツに伝わっていた西側メディアの情報が大きな影響力を持ちました。また、最近では、Facebookでの発信をきっかけに「アラブの春」運動がおこったとも言われています。一方、誤った情報が広まることで、社会を混乱させたり、他人を社会的に抹殺してしまうこともあります。

大量の情報が伝達される社会の中で、私たちは、どのようにメディアとつきあえばよいのでしょうか。また、メディアを通じて、世界同時に同じニュース、同じ流行、同じ話題、同じ映像を見ることができるといえる今日、メディアをめぐる状況はグローバルで統一したものなのでしょうか？それとも、メディアと社会のあり方にも文化差があるのでしょうか？ドイツ語圏のメディアの状況などについても考えながら、私たちに身近なメディアと社会の関係について、一緒に考えましょう。

2011年12月

### 備考：

- ◎ HPからの申し込み後、登録アドレス宛に実行委員会から受付確認メールが送られますので、それにしただって参加費を所定の口座に振り込んでください。（詳細は受付確認メールにて連絡します。） なお、申し込み後、1週間経っても連絡がない場合は、メールで実行委員会までお問い合わせください。
- ◎ 申込みが予定数を越えた場合はキャンセル待ちとなります。
- ◎ 同一大学からの申込みが15名を超えた場合、また学部生以外の方（大学院生など）からの参加申込みについては、それ以外の一般学生の申込みを優先するため、いったん **Warteliste** に載せてお待ちいただく場合があります。
- ◎ 申込み後のキャンセルや部分参加の場合、それまでにかかった実費分等を除いて返金します。（必ず事前に連絡してください。キャンセル手続きの詳細については、申込み手続き後に連絡します。）
- ◎ 新宿から研修所まで貸切バスを往復でチャーターします。料金は参加費に含まれています。出発日の3月11日は午前11時にJR新宿駅発、最終日の15日は、山中湖までの **Ausflug** をしたあと夕刻に新宿着の予定です。往路、復路とも、JR御殿場駅での乗降も可能です。このバスを利用しない人、御殿場駅からのみ利用する人には、片道につき1000円、現地で返金します。申込みの際、バスの利用の有無を記入してください。
- ◎ 授業は、ドイツ語の語学力別に編成する10名程度の小グループで行います。グループ分け、そのほか詳細は、申し込み受付後、メールと参加者向けのWeb上にてお知らせします。
- ◎ 研修所には屋外のサッカーコート、体育館には卓球台やバドミントンのコートがありますので、希望者はラケットやボール、屋内用のシューズを持参してください。
- ◎ ※ 質問がある場合は、実行委員会へメールでお問い合わせください。どうしてもWeb利用ができない方は、郵便で以下にご連絡ください。〒171-8501 立教大学 異文化コミュニケーション学部 浜崎 桂子宛

# Zeitplan

	11. Sonntag	12. Montag	13. Dienstag	14. Mittwoch	15. Donnerstag
8.00		Frühstück 起床・朝食			
9.00		Gruppenunterricht グループ授業	Gruppenunterricht グループ授業	Gruppenunterricht グループ授業	Evaluation 総括
12.00		Mittagessen + Pause 昼食・休憩			
13.00	Anreise 到着 Einführung 案内とテーマ説明	Gruppenunterricht グループ授業	Freie Zeit 自由時間	Gruppenunterricht グループ授業	Ausflug (山中湖へ遠足)
14.00					Abreise
17.00	Abendessen + Pause 夕食+休憩			Schlussfeier パーティー	Änderungen vorbehalten 変更の可能性あり
18.00	Gruppeneinteilung グループ分け	Abendprogramme (Sprachspiele usw.)	Abendprogramme (Debatte, Gedichte)		
19.30	!!!!?? Kneipe / Nachtruhe ??!!!! 懇親会 / 就寝				
21.00					